

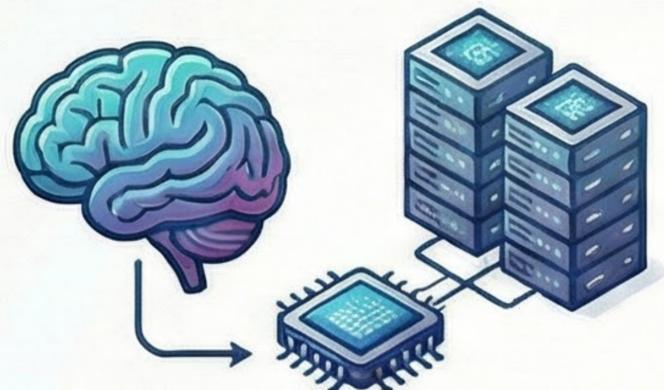
2028年「超知能(ASI)」到達への衝撃：サム・アルトマンが描く未来と世界の展望

2026年2月、OpenAIのサム・アルトマンCEOは「2028年末までにAIがAI人類の知能を超える」と予測。
この提言は、技術的な熱狂、雇用の破壊、存亡のリスク、そして新たな国際ルール策定の議論を加速させています。

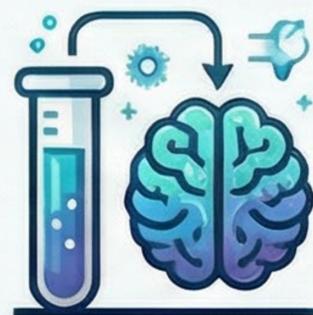
2028年「超知能 (ASI)」へのカウントダウン



ASI到達予測



世界の知的財産の大部分が人間の脳ではなくデータセンター内に存在



根拠：ベンチマーク「First Proof」

AIが未発表の研究レベルの数学問題を10問中7問解き、新たな知識生成能力を証明



超知能 (ASI) が担う役割

あらゆる知的領域で専門家を凌駕し、複雑な経営判断や科学研究を人類以上の速度で行う

社会変革と国際ガバナンスの潮流



IAEA型の国際監督機関の設立提唱

AIの急適な進化に対応し、リスクを管理するための国際的な監督枠組みが不可欠



期待と懐疑の対立

インド等の経済成長への期待に対し、ハルシネーションや実存的リスクを懸念する声も視強い



「デリー宣言」と「Pax Silica」

88カ国が国際協力に合意し、インドは半導体サプライチェーン同盟へ正式加盟

サム・アルトマン氏が提唱する、ASI時代に向けた「AIガバナンスの3原則」

AIの民主化

技術の思恵を広く分散させ、一部の権力者による独占を阻止する

社会のレジリエンス

生物兵器転用などのリスクに対し、社会全体で防御策を構築する

幅広い社会的関与

予測不可能なAIの未来に対し、社会全体で継続的な対話を行う